

## 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP） 「スマート防災ネットワークの構築」への貢献

ICHARM は、令和 5 年 9 月から 5 か年で実施される内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第 3 期に位置付けられた課題「スマート防災ネットワークの構築」を構成するサブ課題の一つである「リスク情報による防災行動の促進」に共同研究機関として参加しています。

本サブ課題は、北海道大学の山田朋人教授を研究開発責任者とし、水災害のリスク情報を住民・企業等の「ジブンゴト化」につなげる研究開発を行うものです。同サブ課題は 1) 流域スケールの風水害影響予測技術の開発、2) 水災害リスク・被害影響可視化技術の開発、3) 防災行動を促すリアルタイム災害リスク情報の評価・生成技術の開発、の 3 つの研究開発テーマから成り立っています。ICHARM は主として研究開発テーマ 2) において、将来にわたって直面する水災害リスクや、事前の防災対策によって軽減されるリスクを企業等が定量的に評価する技術や、仮想洪水体験システムを用いて住民の水災害に対する経験値を上げる技術の開発および実装を通して、水災害が「ジブンゴト」として捉えられ、事前の防災行動が促進される社会づくりに取り組んで参ります。

「スマート防災ネットワークの構築」のホームページはこちら  
<https://www.nied-sip3.bosai.go.jp/>



図 1 本 SIP での研究開発の概要

（公表資料から抜粋）

[https://www.nied-sip3.bosai.go.jp/news/2023-news/attachment/Presentation\\_05.pdf](https://www.nied-sip3.bosai.go.jp/news/2023-news/attachment/Presentation_05.pdf)